

令和7年6月2日

## ▼タイトル

国スポ冬季大会 クロスカントリー入賞者が市長を表敬訪問されます！

## ▼内 容

第79回国民スポーツ大会冬季大会クロスカントリー入賞者のうち、高島市にゆかりのある選手5名が、今城市長を表敬訪問し、入賞報告と今後の意気込みについてお話しいただきます。

## ▼訪問者

### ◆成年男子 リレー優勝（野崎・小林・橋本・石川）

野崎豪（のざき ごう）選手は、高島市マキノ地域で育ち、高島高校スキ一部出身で、現在は東京農業大学に進学されています。父はクロスカントリー滋賀代表チームの監督。粘り強く集団についていき、どんな展開でも自分の滑りができる選手です。

小林皓生（こばやし こうせい）選手は長野県出身で、現在はマキノ地域在住、滋賀県スポーツ協会に所属されています。2024年全日本学生スキー選手権大会では10kmクラシカル部門で3位入賞。練習中はリラックスして取り組み、大会では全身全霊をかけて勝負に挑むスタイルが持ち味です。

橋本礼徳（はしもと ゆきのり）選手は、福井県出身で、現在はマキノ地域在住、滋賀県スポーツ協会に所属されています。昨年夏のローラースキー選手権・男子10kmクラシカルで、数々の実力者がひしめく中、堂々の優勝。スキーに真摯に向き合い、言語化力に長け、調子の波を修正できる選手です。

石川謙太郎（いしかわ けんたろう）選手は、北海道で育ち、ジュニア時代に数々の大会で好成績を残し、その後クロスカントリーの本場ノルウェーのチームに在籍した経歴を持つ選手です。スキー100mで世界歴代3位を持つプリンターです。

現在は滋賀県スポーツ協会に所属され、マキノ地域在住です。

### ◆成年女子B 5kmクラシカル8位入賞（中原）

中原あかり（なかはら あかり）選手は、高島市安曇川地域で育ち、中学生のころからクロスカントリーに打ち込み、京都光華高校スキ一部、日本体育大学に進学され、現在は県立安曇川高校の教員を務めておられます。幼少期にクロスカントリースキーをはじめ、繊細で細かな板操作ができる選手です。中3から出場した国体国スポは計10回（滋賀からは7回）、高い集中力でレースに挑み、国スポ初入賞を果たしました。

▼同席者

滋賀県スキー連盟	会長	澤田	宗次	氏
	副会長・コンバインド競技監督	青谷	正章	氏
	クロスカントリー競技 監督	野崎	吉雄	氏
	クロスカントリー競技 コーチ	小多	正輝	氏

滋賀県競技力向上対策本部 事務局長 南野 芳広 氏 ほか2名

▼日 時 令和7年6月13日（金） 15時00分～15時30分

▼場 所 高島市役所新館3階 会議室7

---

○所 属：高島市教育員会事務局 市民スポーツ課 加藤

○電話 番号：0740（25）8560

○ファックス：0740（25）8539



スキー／クロスカントリー  
成年男子(4×10km)

野崎 豪・小林 皓生

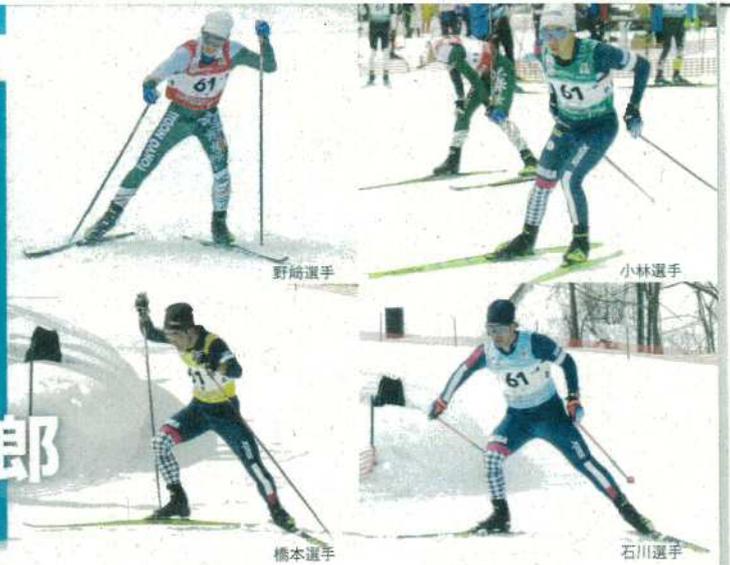
NOZAKI GO

KOBAYASHI KOSEI

橋本 礼徳・石川 謙太郎

HASHIMOTO YUKINORI

ISHIKAWA KENTARO



野崎選手

小林選手

橋本選手

石川選手

## 4人の力とチームの力をひとつに、歓喜の逆転優勝を次の大会へ。

一みごとな逆転優勝でした。おめでとうございます。優勝の決め手となったのは何だったのでしょうか。

**橋本選手** 走順がきっちりハマったことですね。1走の豪が他チームに食らいついてトップ10でリレー。2走の皓生が一気に順位を上げたあと、3走の僕が3位集団を追ってアンカーへ。謙太郎さんはスプリント力が群を抜いているので、絶対逆転してくれると確信していました。

**小林選手** 4人それぞれの強みを生かして役割分担ができたことと、調子の良さを維持していたことも勝利につながりました。

—チームの力でつかんだ優勝ですね。それぞれに目指してきたことや滋賀県に対する想いについても教えてください。

**石川選手** 3年前から特別指導員として滋賀県スポーツ協会に所属しており、ずっと滋賀で開催される国スポでの優勝を目指してきました。とくに若手選手の育成も重視していて、滋賀で生まれ育った豪が力をつけてくれたのは大きかったですね。

**野崎選手** 滋賀県人としては、強豪とされ



る他県と比べると、やっぱり走力が少し劣ると思うんです。スキーの強豪校である東京農大で走力を磨いてきましたが、父が県代表監督をしていることもあってメンバー発表の時は過去イチ緊張しました(笑)。レースではプレッシャーもありましたが、応援の声が聞こえて力に変えられたのかなと思います。

**小林選手** オフシーズンにトレーニングしているとき、地域のみなさんが「頑張れ」「応援

してるよ」と声を掛けてくださるのが温かくてうれしいです。道路を使用する練習などもあり、地元の方々の積極的な協力が本当にありがたいです。

—SHIGA国スポ出場選手への応援メッセージをいただけますか？

**野崎選手** 地元愛を胸に、コンディションを整えて頑張ってください。

**小林選手** 自分にできる最大限のことを考えてやりきってほしいです。

**橋本選手** 結果に目が向きがちですが、自分がやるべきことに集中することが大切です。みんなが頑張ってきているのを知っているので、僕も会場に行って応援します！

**石川選手** 目標は口にしないと実現しません。「優勝する!」としっかり言葉にし、残り半年間やるべきことをやり続けてください。積み重ねた結果が「勝つ」自信につながりますから。

—ぜひ2連覇に向けて頑張ってください。

全員 ありがとうございます！



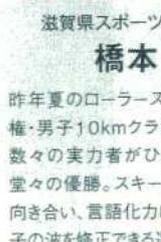
東京農業大学  
野崎 豪

滋賀県立高島高校スキー部出身。父の野崎吉雄氏は滋賀代表チームのクロスカントリー種目の監督を務める。粘り強く集団についていき、どんな展開でも自分の滑りができる選手。



滋賀県スポーツ協会所属  
小林 皓生

2024年の全日本学生スキー選手権大会では10kmクラシカル部門で3位入賞。練習中はリラックスして取り組み、大会では全身全霊をかけて勝負に臨むスタイルが持ち味。



滋賀県スポーツ協会所属  
橋本 礼徳

昨年夏のローラースキー選手権・男子10kmクラシカルで、数々の実力者がひしめく中、堂々の優勝。スキーに真摯に向き合い、言語化力に長け、調子の波を修正できる選手。



滋賀県スポーツ協会所属  
石川 謙太郎

ジュニア時代に数々の大会で好成績を残し、その後クロスカントリーの本場ノルウェーのチームに在籍した経歴を持つ。スキー100mで世界歴代3位の記録を持つスプリンター。



## ★ クロスカントリー リレー成年男子 逆転で見事初優勝

滋賀県選手は監督1名、成年男子4名、成年女子4名、少年男子5名、少年女子4名が出場しました。

成年男子A 10kmクラシカルでは、小林選手がスタートから力強い走りで行き届き、見事2位入賞を果たしました。続く成年男子B 10kmクラシカルでは、同種別2年連続入賞の石川選手が今年も快走を見せ、自身最高順位の2位でゴールしました。両選手とも、「優勝を狙っていたので少し悔しい気持ちもある」と語ってくれましたが、2名が2位入賞と素晴らしい成績をおさめました。

成年女子B 5kmクラシカルでは、昨年3位入賞の山石選手が、声援を力に最終滑走順から次々と前の選手を追い抜き、見事4位でフィニッシュ。今大会から同種別に出場となった中原選手も、最後まで粘り強く走り続け8位でゴールし、悲願の初入賞、成年女子Bダブル入賞の快挙を達成しました。



滋賀県選手団 2025 第79回国民スポーツ大会

最終日のリレー競技(フリー)。女子は少年2名と成年2名のメンバーで出場します。前日の疲労が残る中全員が力走を見せますが、入賞にはあと一歩およばず9位でゴール、少年男子も12位の結果となりました。

その中で、成年男子が観客を魅了してくれました。1周5kmのコースを1人が2周、4名合計40kmで争うリレー競技。野崎選手から10位でバトンもらった小林選手が、区間1位の走りで見事5位に押し上げると、続く橋本選手が3位集団に食らいつき、アンカー石川選手にバトンパス。すべてを託された石川選手は、トップと30秒近くの差をもとめず、大声援を背に積極的な走りで行き届くと、大逆転で滋賀県大応援団が見守るゴールエリアに姿を見せ、感動のゴールテープを切り悲願の初優勝を果たしました。



### クロスカントリー結果

#### 【成年男子A 10kmクラシカル】

- 小林 皓生(滋賀県スポーツ協会) 2位
- 橋本 礼徳(滋賀県スポーツ協会) 9位
- 野崎 豪(東京農業大学) 24位

#### 【成年男子B 10kmクラシカル】

- 石川 謙太郎(滋賀県スポーツ協会) 2位

#### 【成年男子リレー】 1位

- 野崎 豪、小林 皓生、橋本 礼徳、石川 謙太郎

#### 【少年男子 10kmクラシカル】

- 馬場 敦広(県立高島高校) 59位
- 道前 慧一(県立高島高校) 60位
- 上川 光翼(県立高島高校) 72位
- 志村 理樹(市立高島中学校) 73位
- 杉本 祐斗(県立高島高校) 82位

#### 【少年男子リレー】 12位

- 馬場 敦広 ●志村 理樹
- 道前 慧一 ●上川 光翼

#### 【成年女子A 5kmクラシカル】

- 青谷 夏凜(同志社大学) 19位
- 中村 朱里(京都産業大学) 30位

#### 【成年女子B 5kmクラシカル】

- 山石 沙也加(滋賀県スポーツ協会) 4位
- 中原 あかり(県立安曇川高校教員) 8位

#### 【少年女子 5kmクラシカル】

- 入江 花(県立高島高校) 29位
- 入江 椿(市立安曇川中学校) 36位
- 大村 理央(市立今津中学校) 40位
- 中村 心遥(県立高島高校) 49位

#### 【女子リレー】 9位

- 入江 花
- 入江 椿
- 山石 沙也加
- 青谷 夏凜



## ★ コンバインド・スペシャルジャンプ

## 滋賀県から13大会ぶりの出場

滋賀県選手団として、第66回大会以来の、監督1名、成年男子選手1名が出場しました。スペシャルジャンプ競技では悪天候のため公式練習が中止、競技も1本のみとなり25位の結果となりました。また、コンバインドでは、ジャンプ15位、クロスカントリー14位、トータル15位の成績となりました。

### コンバインド・スペシャルジャンプ結果

#### 【成年男子A】

- 小館 冬歩(滋賀県スポーツ協会)
- スペシャルジャンプ 25位
- ノルディックコンバインド 10km 15位



スキー競技では、ジャイアントスラローム競技12点、クロスカントリー競技21点、リレー競技8点の競技得点に参加得点10点を加えて51点を獲得、競技別天皇杯6位、女子総合でも28点で皇后杯6位入賞しました。

冬季競技終了時点での  
第79回国民スポーツ大会の  
滋賀県の総合成績は、

天皇杯163点(7位)

皇后杯64点(6位)

となりました。